

# 立川の青少年

## 令和4年度 立川市青少年健全育成市民運動推進大会

立川市青少年問題協議会会長でもある清水庄平立川市長からは「目まぐるしく変化する社会に合わせて、子どもたちの安全な環境を作るための努力を常に続けていかなければならない」と挨拶がありました。



5月28日(土)、たましんRISURUホールにおいて『令和4年度立川市青少年健全育成市民運動推進大会』が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2・3年度の同大会は中止となっており、実に3年ぶりの実施となりました。学校の運動会などが重なり、今回の参加者は60名でしたが、コロナ禍前の地域活動が今後も少しずつ再開していくことを願います。

### ■ 第一部 推進大会

### ■ 第二部 講演会

開催できなかった昨年度から一年越しの依頼で、一般社団法人生きづらキョウキョウデザイン工房・代表理事の大橋史信さんを講師に迎えて『ひきこもりってなに?』経験者とともに学ぶ『』をテーマに、お話しいただきました。

◎ 地域及び関係機関の支援者の方々があるべき姿として『監視』ではなく『関心』を持つ。

◎ 生きづらさに悩んでいる人への『関心』を持ち続け、適度にノックをし続けていく。

◎ 当事者本人に、何がつかう何に困っているかを聞き、仮に支援者が期待している返事と違っても『そうなんだ』と返すだけで受け止めてほしい。

◎ 支援に即効性はなく、種を蒔き、じつじつと見守る長期戦である。

◎ アプローチの方法は縦や横の関係ではなく、『斜め』の関係でいてほしい。

◎ 支援する側も自分自身のケアを大切に、抱え込まないでほしい。

◎ 支援する側も自分自身のケアを大切に、穏やかな口調ながらも力強い講師の想いが示されました。



### — 編集委員として講演会に参加した感想 —

講師の人柄がよくでていて、深刻になりそうなテーマもどこか明るく、真剣に考えるように引き込まれました。講師自身も引きこもりと発達障害があり、体験者から生のアドバイスや経験が語られました。生きづらさを感じた時、大橋史信さんに相談をすることで解決の糸口が見えてくるかもしれません。

生きづらさを感じる人もそうではない人も、たくさんの皆さまに聴いていただきたい講演でした。



編集・発行 立川市青少年健全育成地区委員長連絡会  
編集長 関口 順孝  
事務局 立川市子ども家庭部子ども育成課  
〒042(528)4367

## 広報「立川の青少年」

紙面で振り返る

### 『青少健』ってなに?

日頃から地域の子どものために積極的に地域活動に関わっている方でも、混同してしまうことがあります。『青少健』とは、青少年健全育成地区委員会の略称で、子どもを取り巻く地域のすべての団体の連絡組織です。団体の代表者及び団体にて推薦された方で構成され、市内を12の地区に分けて結成されています。

### ■ なぜこれほど多くの団体の参加が必要なのか

過去の広報「立川の青少年」にヒントがありました。子どもを取り巻く環境は複雑で広範囲にわたり、一つの団体だけでは問題が解決しないことがあり、多方面から検討していく必要があるからです。また多くの団体が一同に会して連絡を取ることで、情報交換や地域行事での連携がよりスムーズに行われていることも確かです。家庭や学校だけで問題を抱え込むのではなく、地域ぐるみで子どもを育てていこうとする『青少健』の働きがより重要になるのではないのでしょうか。

(広報「立川の青少年」第88号より引用)

月日を経ても今に通じる部分が多くあります。当時の広報紙はB4判の両面印刷一枚で、昭和58年の刊行当初は毎月発行でした。平成2年4月以降、年6回の刊行頻度になりましたが、ほとんどが手書きで、当時の編集委員・地域の方々のご尽力を思うと、胸が熱くなることも温もりが感じられます。広報「立川の青少年」のバックナンバーは一部欠号もありますが、中央図書館三階のレファレンス室にて閲覧可能です。

## 第42回 立川市中学生の主張大会 ～今の自分を伝えよう～

11月3日(木・祝) たましんRISURUホール

### 【応募資格】

市内在住の中学生(国・公・私立を問いません)

### 【発表の主題】

- ◎ 社会や世界に向けて意見、未来への希望や提案など
- ◎ 家庭、学校生活、社会及び身の回りや友だちとの関わりなど
- ◎ テレビや新聞等で報道されている少年の問題行動、大人や社会の様々な出来事に対する意見、提言など

### 【原稿の締め切り】

令和4年8月26日(金)

### 【応募方法】

原稿用紙4枚程度(1,200~1,500字)

応募原稿は未発表で手書きのものに限ります

市立中学校：各中学校経由で各地区の青少健へ

国・公・私立中学校：青少健または直接下記へ

### 【応募原稿送付先及び問合せ先】

立川市子ども家庭部子ども育成課青少年係

〒190-8666

東京都立川市泉町1156-9

電話：042-523-2111 (内線1306)

### 令和4年度

## 立川市青少年健全市民行動方針



### 『たちかわっ子』

健全に育っていくために必要な『自立』することの意味と社会性を身につけ、社会へ巣立ってほしいと願っています。そのためには、家庭・学校・地域の大人と子どもたちで取り組んでいくことが大切であり、『青少年健全育成市民行動方針』が策定されています。

### 令和4年度編集委員

原澤 泉 (曙町地区) 鈴木 美佐恵 (砂川地区)

河村 とも子 (高松町地区) 石井 直行 (西砂川地区)

### 退任委員

徳永 弘子 (羽衣町地区) 浅見 勲 (若葉町地区)

### 令和4年度

## 立川市青少年健全育成功労者感謝状贈呈

### 【地区委員長退任者】(敬称略)

曙町地区 矢島 重治 ※令和4年5月逝去

幸町地区 齋藤 儀織

砂川地区 小松 剛

### 【長期功労者】(敬称略)

羽衣町地区 小野 和恵

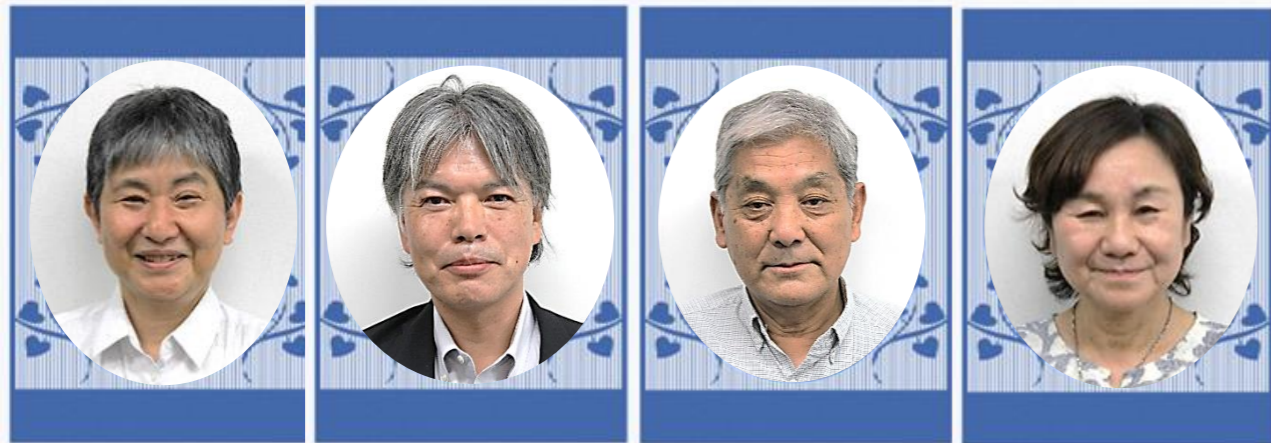
川井 浩

坂井 俊之

柳原 敏郎



富士見町地区 柴崎町地区 錦町地区 羽衣町地区



佐藤 米子 委員長 森園 高博 委員長 市川 敏夫 委員長 平澤 節子 委員長

栄町地区 柏町地区 若葉町地区 西砂川地区



高田 淳 委員長 坂下 香澄 委員長 須崎 健 委員長 石井 直行 委員長  
【副会長】

◇各地区継続委員長◇

◆◆青少年健全育成地区委員長連絡会◆◆

◇新任地区委員長ご紹介◇

曙町地区 萩生田 茂利 新委員長

この度、青少年健全育成曙町地区委員会の委員長を拝命しました萩生田です。

ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた青少健活動を通じ、『子どもたちの笑顔輝く曙町』を実現したいと思います。皆様、よろしくお願いいたします。



幸町地区 中村 利文 新委員長

こんにちは。この度、幸町地区委員会の委員長として、お世話になります。

青少年の健全育成のために育ちやすい良い環境づくりを微力ながら行っていきたくておりますので、皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。



砂川地区 荒口 仁 新委員長

この度、砂川地区青少健委員長に仰せつかりました荒口仁です。

砂川地区は、小中学校・自治会を始め各団体の活動が活発な地域です。コロナ禍で約2年間思うような活動が出来ませんでした。地域の方々と連携を取り安心・安全な地域づくりをモットーに『立川で一番住みたい町』を目指したいと思います。



◇新会長ご挨拶◇

高松町地区 関口 順孝 委員長

この度、青少年健全育成地区委員長連絡会の会長になりました高松町青少健委員長の関口順孝です。



地域における青少健の役割は、児童・生徒の育成活動を支える家庭、学校と一体となって、いかに関係機関、地域の諸団体が連携し活動できるか、その連絡調整の要であると思っています。

青少年が、夢と希望をもって心豊かに成長し、社会に参加できる大人へと自立していけるように、『地域ぐるみで、未来を担う子どもたちのために』を合言葉に取り組んで行きたいと思っています。



◇退任地区委員長ご挨拶◇

訃報 曙町地区 矢島 重治 前委員長

令和4年5月9日死去 (73歳)



平成30年度～令和3年度 曙町地区委員会 委員長  
令和3年度 地区委員長連絡会 会長

幸町地区 齋藤 儀織 前委員長

短いようで長かった5年間、色々お世話になりました。

コロナの影響でイベント等自粛、又会議など開催して良いかの判断など難しいこともありました。

皆様のご協力により、無事に勤めることができました。ありがとうございました。



砂川地区 小松 剛 前委員長

二度目の委員長ということもあり、地域の諸団体の皆さまが円滑に活動し、連携、連絡調整を密にするべく委員長を引き受けました。

コロナ禍の中、その役割を果たせず残念ではありましたが、新委員長がその責務を果たしてくれると思っています。これからも地域が安心安全でいられるよう活動して参ります。

